

小学校 知的障害特別支援学級 生活単元学習指導案

1 単元名 市合同校外学習に行こう
～りんご狩り、森林公園での体験を通して～

2 目標

- 他校の児童生徒との交流、校外での体験学習を通して、いろいろな人とのコミュニケーションに関心をもち、みんなで利用する場に慣れ、集団で行動する態度を養うことができる。
(関心・意欲・態度)
- みんなで利用する場、集団の場での体験を通して、よりよい過ごし方、マナーを考え、判断することができる。
(思考・判断)
- 日程表づくり、振り返り学習、おやつを楽しむ学習を通して、見通しをもつ力、思い出を表現する力、簡単な調理をする力を習得することができる。
(技能・表現)
- 体験学習の計画を理解して活動し、集団活動でのマナーの理解を深めることができる。
(知識・理解)

3 単元について

本学級は、4名の児童による異学年的小集団である。身辺自立は、ほとんどできており、多くの支援は必要としない。コミュニケーション能力としては、交流学級などの集団の場では消極的だが、周囲の状況を理解して活動できる児童、周りのことを考えず自分本位で行動してしまう児童、親しい友達との間では自己中心的な行動が目立ってしまう児童、若干こだわりがある児童などさまざまである。本単元のような体験的活動には、たいへん興味があり、自分本位な行動をとりがちである。そのため、自分の考えを伝えるとともに、相手の考えを受け入れ、認め合いながら協力して活動するための支援が必要である。

本単元では、市特別支援教育合同校外学習に向けての事前学習、当日の学習活動、振り返り学習を通して、活動計画や社会的なルールを理解して行動できる力、友達や教師とともに助け合いながら楽しむ態度を伸ばすようにしたい。

指導にあたっては、集団活動であることを意識して時間やマナーを守ること、りんご狩りや森林公園の眺望、様子から季節を感じ自然を楽しむこと、りんごをおやつとしてお茶を楽しむこと、思い出を振り返り絵や文に表すことなど、他教科との関連を考えながら進めていくようにする。

4 児童の実態と個別目標

	実 態	目 標
A	ADHDと診断され、服薬中である。個別に支援することで、ほとんどの活動ができるが、場の状況を判断したり、活動を持続したりすることが難しい。	よりよい行動を判断し、みんなと一緒に体験活動に参加できる。自分の考えを話したり、書いたりできる。
B	活動内容を記憶し、よりよい行動について考えることはできるが、その場になると興味本位に行動したり、話し始めたりすることが多い。	話をよく聞いて他者の考えを受け入れたり、自分の考えを伝えたりできる。集団でのよりよい行動が実践できる。
C	見通しをもってうまく活動することができるが、「自分が1番」が優先してしまい、意見を通そうとしたり、行動が先走ってしまったりすることがある。	自分本位な行動をおさえ、友達と仲良く体験し、関わり方が習得できる。
D	見通しがもてると自主的に活動し、現実的な考えもできるが、多少こだわりがあるため、興味本位に行動したり、話し始めたりすることがある。	自分の思いに固執せず、見通しをもつて自主的に体験し、過ごし方を習得できる。

5 学習計画 (11時間扱い)

第1次	市合同校外学習について知ろう	-----	2時間
時	主な学習内容・活動	評 価	
1	校外学習のしおりを使って、日程、活動内容、準備物を知り、めあてやがんばることを考える。	校外学習の日程や活動内容を知り、関心をもつことができる。 (興味・関心・態度) しおりを使って、自分のめあてやがんばることを考えて、書いたり発表したりすることができる。 (思考・判断)	
2	校外学習を明日に控え、日程や活動内容、バスやりんご園・公園でのマナーを掲示物を作りながら確認する。 (本時)	校外学習の日程、活動内容、バスの中やりんご園・公園でのマナーについて確認し、明日の見通しをもつことができる。 (思考・判断) 分かりやすい日程表を作ることができる。 (技能・表現)	
第2次	市合同校外学習に行こう	-----	5時間
第3次	りんごでおやつを楽しもう	-----	2時間
第4次	市合同校外学習を振り返ろう	-----	2時間

6 本時の学習

(1) 目標

ア 全体目標

- しおりを参考にしながら、校外学習の日程、活動内容、バスやりんご園・公園でのマナーについて確認し、当日の見通しをもつことができる。

イ 個別目標

- A 集合、出発の時刻を確認して掲示物を作ることができる。
バスやりんご園・公園での、よりよい過ごし方を短冊に書いて発表することができる。
- B 集合などの時刻と、活動内容を確認して掲示物を作ることができる。
バスやりんご園・公園でのよりよい過ごし方を考えて発表することができる。
- C 発表の順番を守り、友達の意見を聞くことができる。
バスやりんご園・公園での、よりよい過ごし方を考え、短冊に書くことができる。
- D 日程や活動内容を短冊に書き、短冊を模造紙にバランスよく貼ることができます。
バスやりんご園・公園でのよりよい過ごし方を考え、掲示物に書くことができる。

(2) 準備・資料

校外学習のしおり 時計 時計盤用紙 模造紙 色画用紙
バスの車中・りんご園・公園の写真またはイラスト

(3) 展開

学習内容・活動(形態)	教師の指導・支援と評価
1 本時の課題をとらえる。 (一斉) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市合同校外学習の日程や約束の確認をしよう</div>	<ul style="list-style-type: none">・ しおりを見ながら、家の準備状況などを聞いたり、バス・りんご園・公園などの写真を見たりして、校外学習への興味が高まるようになる。
2 時刻に活動内容を合わせながら、日程を確認する。 (一斉) (1) しおりを見ながら、時刻と活動内容を確認し、時計盤用紙や短冊に書き込む。 (2) 時刻と活動内容を模造紙に貼る。	<ul style="list-style-type: none">・ 時計盤の短針の位置を教師が指し示し、確認を促す言葉かけをすることで、短針の位置に注目できるようにする。 〔記〕 時計盤用紙に時計の針を書き込むことができる。(A, B) (観察・時計盤用紙)・ 短冊を示しながら、見やすく作るためにどうすればよいか考えるような言葉かけをすることで、CとDが、文字の大きさやていねいさを考えて、短冊に書き込むことができるようになる。 〔記〕 活動内容を短冊に見やすく書き込むことができる。(C, D) (観察・短冊)・ 模造紙に時計盤用紙と短冊を並べるよう助言することで、時間の経過に合わせて、バランスよく貼ることができるようになる。 ・ Dが中心となって、バランス良く並べ、AとBとCが糊を付けて、Dが貼る、など協力して作るように助言する。 〔記〕 用紙の適切な部分に適量の糊を付けることができる。(A) 先走りせず、適量の糊を付けてDに貼ることを任せて待つことができる。(B, C) バランス良く並べて貼ることができる。(D) (観察・掲示物)
3 バスの中、りんご園、公園でのよりよい過ごし方について話し合う。 (一斉) (1) より良い過ごし方を考え発表する。 (2) 過ごし方を短冊に書いて模造紙に貼る。	<ul style="list-style-type: none">・ BとCとDは、今までの経験から、よりよい過ごし方を発表できるようになる。BとCは、先に発表したがるので、教師が指名することを受け入れ、友達の考えもよく聞けるようになる。・ 発表した内容を板書し、励みになるようになる。・ Aが思いつかないときは、バスの中、りんご園、公園の写真またはイラストを見てそのイメージをふくらませ、○か×で判断できる発問をする。 〔記〕 バスの中、りんご園、森林公园でのよりよい過ごし方を発表できる。 (観察・発表)・ 自分が発表した内容をていねいに、見やすく書けるようになる。・ Aは、簡潔な言葉での表現で作るように助言することで、短冊に書くことができるようになる。
4 本時のまとめと次時の予告を聞く。 (一斉)	<ul style="list-style-type: none">・ 本時で仕上げた掲示物の内容と服装、準備物を確認して、校外学習当日を見通しをもって楽しみに迎えられるようになる。事後学習には、仕上げた日程表に写真やコメント、絵を貼って振り返ることを伝える。